

ひとを育てる活動

SCMSI 現況報告

－ 2021 年度もコロナ対応の変則的授業になります －

ガンダム学長から9月5日付メールで、コロナで遅れていた2020年度卒業生報告、2021年度の進級・入学手続き完了他現況の報告が届きました。

1. **卒業報告**：里子16名のうち、最高学年だった6名が、例年より4か月遅れの7月末、それぞれ、ジュニア及びシニアハイスクール、カレッジを卒業しました。
2. **小～カレッジまでの新年度在籍数**：ベネフ校閉鎖でラヒットとレムエヘック2校となったSCMSI小学校の児童総数は300名、デコロンとレムエヘック両ハイスクールはジュニア・シニア計1,000名。カレッジは地域開発、初等教育、観光の3コース計800名で、ほぼ前年度並みとなっています。
3. **コロナ対応授業形態**：小学校とハイスクールはプリントによる自宅学習で、教師が週1回児童・生徒の家を訪問します。一方、カレッジ生は引き続きオンライン受講。

ガンダム学長からは以上の報告に加えて、政府補助金の遅れ等による教師給与未払い問題が生じていることに触れて、里子奨学金後期分について、前倒し送金要請がありました。

補助金の遅れとコロナの関係は定かではありませんが、近年観光産業への依存度が高まったレイクセブでは、コロナによる父母の収入減、各種校納金未納による資金不足は推測できます。後期開始は来年2月ですが早めの送金を済ませました。

資金面でほぼ自立とお伝えのSCMSI運営。長引くコロナによる影響は大きいものがあるようです。

－ SCM 創立 60 周年を祝いました！ －



コロナ禍の下での式典は、ミサとチボリダンスの奉納という簡素なものになりました。

学校法人としてはまだ55年ですが、教会がSCM/サンタクルスミッションとしてチボリの村で教育・農村開発・伝統継承等の支援を始めたのは60年前です。私たちもさやかな寄付で祝意を伝えました。

設立 12 年目の先住民族学校/ILS 現況より

－ 就学前の子どももお相伴の給食タイム －

辺境のコロナ感染数は都市部より大分少ないですが、それでもこの時期のアニータ先生のメールはいつも「コロナの影響で」から始まっています。今回も収入を求めて親が留守という近隣児童の写真が届きました。



<嬉しいごはん給食の時間>
燃料の薪を持参すれば就学前でも給食を食べられます。

－ 医大生ジュニア、卒業まであと1年となりました！ －

CMIP ラムアプス校で働く父と同じ教師を目指していた奨学生ジュニア。成績優秀だったため、当時のCMIP代表エドウィン神父の助言により、医大進学に必要な課程のあるカレッジに転校。その後ダバオ医大に入学と少し遠回りしましたが、この9月、最終学年4年に進級したという報告が届きました。

2年前に同じダバオ医大を卒業し、今はレイクセブ公立病院で働くチボリ民族の医師アンのように、住民の頼りになる医師として独り立ちするには、国家試験を含めてあと2年必要です。ずっと支えていただいている会員のご協力に応えるためにも頑張りたいと思います。



ノビシエート寮自習室のジュニア。医大の制服を着ています。オンライン受講は私服ではなく、制服で決められているのかもしれませんが。ダバオのアパートから医大に通っていたコロナ前と比べて、家賃食費代が安くなりました。

－ ハイスクール奨学金の42%はマスクとお米支援に －

自宅や親類宅などから、それぞれ最寄りの公立ハイスクールに通うCMIP奨学生20名の各年額6,000ペソ(約14,000円)の経費内訳が届きました。

職業家庭科教材等のプロジェクト代、文具、交通費等のほか、マスクと米代の合計2,500ペソが突出しています。一方で、従来2,000ペソ程度充当の体操着経費はありません。未確認ですが体育実技がなくなったのかもしれませんが。

なお、それぞれ遠く離れたハイスクールに通う奨学生を訪ねての現況把握は、特にこのコロナ禍は大変で、写真報告等はまだまだ届きません。支援会員の皆様には追ってご報告させていただきます。

フィリピンの教育制度改革K to 12により、カレッジ進学には、ジュニア、シニア合わせて6年間の中等教育(ハイスクール)が必要になりました。ハイスクール生支援の皆様には長期に渡るご協力をありがとうございます。

－ 学校自主財源事業にフタ飼育も加わります －

毎回本欄で、辺境の初等教育を支えるILS校自主財源・アヒルとヤギ飼育の成果をお伝えしていますが、この度さらなる財源確保をとの主旨で追加の寄付をいただきました。

アニータ先生に伝えたとこ、ブタ飼育案が届きました。モロ民族を除いてブタの地元需要は大とのこと。特に学校農園のイモ類で飼育のブタは、配合飼料による都市郊外のものより低脂肪で高く売れるということで期待したいと思います。